

輝く未来へ向かって はたちから始める未来への挑戦



はたちの成人代表者の皆さんに八戸の良さ、20歳を迎えての夢や目標などをお聞きました。

はたちから見た八戸はどんなまち？

八戸といえど？

八戸三社大祭

- ・人の手で制作される山車は迫力があり、何回見ても新鮮な気持ちで楽しめる。
- ・努力の結晶が見られて熱くなれる祭り！
- ・太鼓の音や掛け声が街中に広がっていくので鳥肌が立つ。



八戸えんぶり

組によってさまざまな特徴がありおもしろい。

イカ

- ・祖母が作るイカの刺身が好き。
- ・給食で出たりいかずきんズがいたり印象的

心に残っている思い出の場所

是川縄文館

高校の授業の一環で、是川縄文館、土器や土偶、昔の是川の土地について研究を行うため、何度も訪問したりイベントを開催したりした。



館鼻岸壁朝市

幼い頃、祖父と毎週買い物に行きご飯を食べた。朝市に行くとその頃を思い出して気持ちがほっこりする。

こどもの国

幼稚園の親子遠足や中学校の職場体験で訪問した。動植物との触れ合いを通していろいろな感性を育てられる場所。

八戸の好きなところ

海産物などの食べ物がおいしい

- ・イカや海鮮丼、せんべい汁など食べ物がおいしい。
- ・豊富な海産物のなかでも、特に焼きサバがとても好き！



自然が豊か

小学生の頃、ほっき貝採りやウニむきなどの体験をした。海が近いからこそできた貴重な体験だったと思う。

中心商店街

商店街のお店同士の繋がりが、お得意様や常連さんという関係性は都会にはみられない素敵な文化。

好きなところと残念なところの両方に「中心街」が挙がっていて、関心があるんだにゃ！



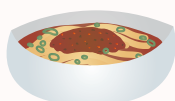
八戸の残念なところ

遊ぶ場所が少ない

- ・水族館、動物園、映画館などが少ないところが残念
- ・高校生や大学生が楽しめるような場所がない。
- ・中心街は買い物できる場所が少なく映画館も無くなってしまったので、お祭り以外で中心街に遊びに行くことがなくなってしまった。
- ・中心街のビルが閉館したり映画館が無くなったりして、日中に立ち寄れる店が少ない。
- ・遊びに行くところが限られ、八戸に楽しむことができない。

好きな給食トップ3 (複数回答あり)

1位



じゃじゃ麺 (学校給食オリジナル)

7人

麺に絡まる肉味噌と、とろみのあるあんを口いっぱい頬張って食べるのが幸せだった！

同率
2位

サバのみそ煮



せんべい汁



3人

八戸の特産品を使った献立を思い返すと、おいしいものがあふれている場所に生まれてよかったと感じる。

八戸をより良いまちにするために必要なことは？

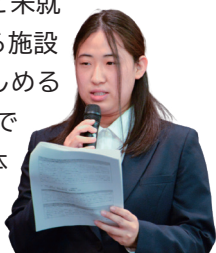
昨年11月、はたちの成人代表者の皆さんは「はたちの成人代表者と市長との懇談会」に参加し、熊谷市長と懇談しました。アイデアや取り組んでみたいことをお話いただきました。

八戸らしいまちづくり

天候に左右されず、知育にもなる屋内アスレチックを作る。視覚で楽しめる壁や床、アクティビティにユニバーサルデザインを取り入れることで多くの人に親しまれる場所ができる。(西山さん)



こどもの国やこどもはっちなど未就学児から小学生までが楽しめる施設はあるけれど、中学生以上が楽しめる施設が無いと思う。子どもだけでなく中学生や高校生、大人も身体を動かして遊べる施設を作る。(笹本さん)



災害時に役立つものを発明するために昆虫テクノロジーの開発、おいしいパンを作るために酵母の研究など、研究分野で八戸に影響を与えたい。(石屋さん)



コワーキングスペース・スタディスペースなどの設置や、本八戸駅周辺を市民が使いやすい空間にして「市民の憩いの場」としての役割を持つところにする。(北上さん)



中心街の空き店舗をイベント時の休憩所として活用する。将来、空き店舗を使って地域に住む人の健康維持やネットワーク作りをしたい。(今井さん)



八戸駅構内に、地元の人が自由に書き込める案内ボードを設置したり駅周辺の空き家を有効活用したりする。三社大祭と関連させて、SNSで全国へ発信すると良いと思う。(石橋さん)



高齢者が講師の「八戸料理教室」を開催する。旬な食材を使った八戸の郷土料理を作ることで、地元の食材・味を知ること、きっかけになる。また、高齢者にとっては生きがいづくりにつながる。(新沼館さん)



ショッピングモールやアミューズメント施設、整備された公園があると人が集まる。(田中さん)

子育て支援の充実

子育てがもっと楽になるように、市内にある病児保育、病後児保育の認知度を上げたり施設を増設したりする。(庭さん)



共働き世帯に必要な施設や児童館を増やし、経験や学びの場、親子の体験学習ができる「交流の場」を作る。(橋場さん)

教育環境の充実

小・中学校の授業に、八戸のことを学び他県の児童・生徒と交流できる時間を取り入れる。八戸の特徴や観光地などを知っておくことで、たくさんの人に八戸の良さを伝えることができる。(木村さん)



教職員不足解消、教育の質をさらに向上させるため、教員の業務量の削減や分担などの見直しなどについて意見を出していきたい。(小瀬川さん)



市長から



それぞれの提案の中に、皆さんの八戸のまちづくりへの思いを感じ、とてもうれしいです。「魅力的な施設をどう活用して八戸の魅力に繋げていくのか」ということが、今後のまちづくりの課題だと思っています。皆さんに居場所があって活躍できる八戸にしていきたいと思います。

将来の夢は？



みんなが安心する まちづくり

小学生の頃、暗い道が苦手だった。暗い道に街灯を設置するため、電気関係の仕事に就きたい。交通事故や犯罪リスクを減らし、みんなが安心して通れる道を作りたい。

八戸工業大学
木村春翔さん



地域と連携した 施設を作る

地域の人に恩返しをしたいと思い、高校生の頃から介護福祉士の勉強をしている。施設入所後も地域のお祭りや子どもと関わることができる施設を経営したい。

八戸学院大学
短期大学部
新沼 詔みゆさん



健康で楽しく 暮らせる人を増やす

大学での勉強を通して看護師と保健師に興味が湧いた。看護師と保健師の資格を取得し、患者や地域の人の生活を健康的でより良いものにしたい。

八戸学院大学
今井清美さん



建築で人々の暮らし に貢献

建築士の父の影響で、中学生の頃から、建築士となり建設現場で働きたいと思っている。今後、物流倉庫が重要になってくると思うので、物流倉庫の建築に携わりたい。

八戸工業高等
専門学校
北上 茉依さん



自分の山車絵で 山車運行

三社大祭に参加してから、趣味で山車の構図絵を描いている。今までにない構図でインパクトがある山車絵を描いて、実際の山車にしたい。

八戸学院大学
石橋 諄朗さん



デザインで 暮らしやすいまちに

大学でユニバーサルデザインについて勉強し、利用者目線で物事を捉える重要性を学んだ。さまざまな利用者に寄り添ったアイデアを出せるデザイナーになりたい。

八戸工業大学
西山 遥さん

幸せな家庭を 築く

学校の卒業と就職を控え、自立し本当の大人になる実感が湧き始めている。家族を養うために、一人前の大人としてしっかり生きていく。



八戸工科学院
田中達也さん

一人一人と向き合う 保育士

保育士となり、園を経営したいと思い勉学に励んでいる。園全体の雰囲気良くして保育者が働きやすい環境や、子どもが毎日来たいと思えるような園を作りたい。



八戸学院大学
短期大学部
橋場美沙希さん

看護師になり 患者に寄り添う

高校生の頃、進路に悩んでいたときに、看護師の叔母から仕事のことを聞き興味を持った。患者さんが元気に退院するお手伝いをしたい。



八戸准看護学院
庭菜々美さん

進学・就職しても 研究を続けたい

叔母の影響で、医療関係の仕事に就きたいと考えていた高校生の頃、東北大学の先生の講義を聞き、人の病気を治す職業は医者だけではないと気づき、研究職に憧れている。



岩手大学
小瀬川音さん



生物分野で研究活動 を続けたい

父の影響で幼少期から昆虫と触れ合ってきた。生きものがとても好きなので、生物分野で研究活動を続け、専門的な知識で社会の役に立つものを作りたい。

八戸工業高等
専門学校
石屋優さん



福祉の道で多くの 人を笑顔に

祖母が、病院スタッフと笑顔でリハビリに励む姿を見て、悩み事や困り事がある人に寄り添い、笑顔にできる社会福祉士を目指そうと思った。

八戸学院大学
笹本京楓さん

夢を抱いて 未来へ



出席率は87%だったにや！
参加してくれて
ありがとうにや！



1月7日(日)、令和6年八戸市成人式～二十歳の記念式典～を開催し、1,566人が出席しました。旧友との再会を無邪気な笑顔で喜び合う一方、リリしい表情で前を見つめる皆さんは「大人」として歩み始めていました。今後、それぞれの夢を叶えるため、更に成長した姿を見せてくれることを期待しています。

広報統計課 ☎43-9317(記事について)
社会教育課 ☎43-9154(成人式について)